

# 賃上げ、昨年上回る高水準

道内企業の春季労使交渉による賃上げが昨年を上回る高い水準で、早いペースで進んでいる。連合北海道がまとめた平均賃上げ額は3月末時点で5418円と、昨年の同時期に比べ259円上昇した。輸出が好調な製造業を中心に、流通・サービス業でも高水準の賃上げとなつている。中堅企業の賃上げも昨年より高く、大手企業の賃上げが中堅中小にも波及しつづけるようだ。



## 道内3月末時点 259円上昇の5418円

組合員規模	妥結額(定昇・ベア込み)	昨年比
99人以下	2533円	736円増
100~299人	3721円	1463円増
300~999人	5202円	934円増
1000人以上	5960円	160円減
平均	5418円	259円増

(注)連合北海道調べ。3月末までに妥結し集計可能な組合のみ集計した。昨年比は集中回答日からの日数がほぼ同じ昨年3月25日時点との比較

## 製造業がけん引 中堅中小に波及

連合北海道の集計によると、3月末までに76組合で交渉が妥結した。3月中に妥結した労働組合数は昨年の56から大きく増えた。主要企業の集中回答日は昨年より遅かったものの、経済界に賃上げを求める政府の後押し(北海道)も160

0円、いすゞエンジン製造北海道(同)も3210円のベアで妥結。自動車業界はトヨタ自動車4000円のベアで妥結するなど高水準の賃上げが続く。道内企業にも影響が浸透している。日本製鋼所室蘭製作所(室蘭市)は昨年のベアゼロから一転し、25500円のベアで妥結した。原子力発電所向け部材の販売は滞っているが、他企業で賃上げが浸透しているため人材確保を優先し、ベアに踏み切った。流通業でも賃上げが相次いでいる。ハンバーガーレストランのアレフ(札幌市)は11年ぶりにベアを実施、800円で妥結した。マックスバリュ北海道は10000円のベアを含め、全組合員の平均基本給を1.9%引き上げる。昨年、2006年

は「ないか」(労組の三野明広委員長)という。一方、中小企業の多くは4月に交渉のピークを迎える。中小は道内雇用の85%を占めるだけに、道内消費の動向を見極めるうえで、今後の労使交渉の行方が注目される。旭川医大生に修学資金貸与 深川市立病院 深川市立病院は旭川医科大学の学生に月額5万円の修学資金を貸し付けることを決め、2日から12人程度の募集を始めた。年間予算は840万円。学生が医師国家試験合格後に臨床研修を同病院と旭川医大で実施すれば返還を全額免除する。同病院では常勤医師が減少し、増える患者への対応がままならないため、医師を確保する狙い。旭川医大生への貸し付け条件を深川市が制定したのを受けて同病院の会計から資金を捻出する。同日開いた旭川医大との調印式で山下貴史市長は「地域医療の提供に支障をきたす状況を打開したい」と語った。吉田晃敏学長は「地域医療を担う医師を育てていく上で意義深い」と話した。

# 道内倒産、最少291件

## 昨年度13%減 金融機関が積極支援

東京商工リサーチ北海道支社が2日発表した2014年度の道内倒産件数(負債総額1千万円以上)は13年度比13%減の291件と、調査を始めて1971年以来過去最少となった。負債総額は89%減の653億2600万円。「金融機関が積極的に金融支援を続け、倒産が出にくい状態が続いている」という。倒産件数はこれまで最も少なかった13年度の333件を42件下回り、過去最少を更新した。10業種のうち7業種で倒産が減少し、1業種が横ばい、2業種が増えた。公共工事の増加などを背景に建設業が59件と34%減少。一方、消費増税の影響を受けやすかった小売りは51件と19%増加した。13年度は歴代3位の5061億円の負債を抱えて倒産したカブトコムが特別清算をしており、その反動で14年度の負債総額は大幅に減った。東京商工リサーチ北海道支社は「電力再値上げ

や円安による輸入コスト増などで収益が悪化し倒産する中小・零細企業がなくなる可能性がある」と説明する。3月の倒産件数は前年同月比3%減の39件。負債総額は90%増の157億200万円だった。

# 観光の人材育成で連携

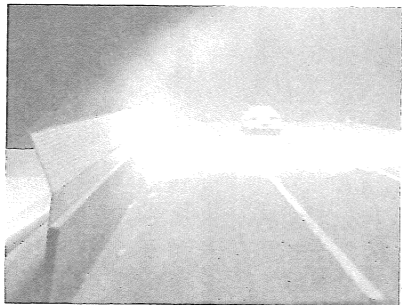
## 道商連と札幌国際大 夏から就業体験

北海道商工会議所連合会と札幌国際大学と連携し、学生向けのインターンシップを新たに設け、成を始める。仕事の現場となる人材を育てる。2日に道商連と札幌国際大学が連携して、道内就職を支援する。外国人観光客が増えているが、外国語で紹介できる人材が少ない。経済界と大学が協力し、担い手となる人材を育てる。

# 理研興業 防雪柵

## 冬に技あり

防雪柵メーカーの理研興業(小樽市)は今年で設立60周年を迎える。昨年11月までに道内や東北で設置した防雪柵は延べ1000㎡を超えた。今年の道内は雪解けが早かったが、局地的な暴風雪は多く、積雪や視界の悪化を防ぐニーズは高い。現在は来冬に向けた技術開発が着々と進む。吸引装置の出力が上がる。同時に真っ白い粉が舞い上がり、ものすごいスピードで透明な筒の内側を左から右に飛んでいく。ただ、道路に見立てた模型の上には、粉はほとんど落ちていない。風上に設けた柵が空気の流れを変えている。本社では風洞実験装置で



道路の反対側まで雪を飛ばす防雪柵(理研興業の風洞実験室内の模型)

防雪柵は吹雪の原因となるサラサラの軽い雪が降る地域に数多く設置される。路面への積雪防止だけでなく、運転者の目線の高さで舞う雪を減らし、視界の悪化による事故を防ぐ。人口密度が低く、海戦術による除雪に限度がある道内では特に重要なインフラだ。形をしている。柵に衝突した吹雪は上空に飛ばされ、放物線を描くようにして道路をまたいで着地する。柵の忍び返しは従来の柵よりもさらに高性能だ。柵に取り付けた金属製パネルには細かい穴が開く。柵の下に回り込んだ吹雪の一部が穴を下から上に抜け、残りの吹雪をさらに上方に押し上げて遠くへ飛ばす。従来の柵に比べ視界を保てる空間が7~8割伸び、

10年は20回に上る。特に近年は2つの低気圧が北海道付近で合体して激しくなる事態が急増している。全ての道路に防雪柵を設けるのは予算上難しいため、同研究所は24時間後までの視界を地図上に色で示すウェブサイト「吹雪の視界情報」を提供している。2日に道商連と札幌国際大学が連携して、道内就職を支援する。外国人観光客が増えているが、外国語で紹介できる人材が少ない。経済界と大学が協力し、担い手となる人材を育てる。

# 企業ファイル

## パネル工夫、雪より遠くへ

日々、地吹雪を再現する。白い粉は雪の代わり。暴風雪で生じる吹きだまりの量や位置は風の強さや向き、地形に大きく影響される。事前に綿密にシミュレーションしておかないと、柵を設けても確実な効果が出ない。複雑な地形では「模型の制作に数十万円~100万円程度かける」(技術部長)。柵の最上部は「忍び返し」と呼ぶ、反り返った工業(現・大同特殊鋼)の

# 北海道

札幌 011-221-1111  
旭川 0154-221-1111  
函館 0142-221-1111  
釧路 0155-221-1111  
網走 0156-221-1111  
紋別 0157-221-1111  
室蘭 0143-221-1111  
苫小牧 0144-221-1111  
千歳 0145-221-1111  
札幌 011-332-1111  
旭川 0154-332-1111  
函館 0142-332-1111  
釧路 0155-332-1111  
網走 0156-332-1111  
紋別 0157-332-1111  
室蘭 0143-332-1111  
苫小牧 0144-332-1111  
千歳 0145-332-1111



# 開業機運、盛り上がり

北海道新幹線の開業を2016年3月に控え、地元函館では開業機運を盛り上げる動きが広がる。北海道旅客鉄道(JR北海道)は函館駅前の商店街に開業をアピールするフラッグを掲出。写真右。トヨタカローラ函館(函館市)は新幹線開業を記念して、函館駅前商店街にフラッグを掲出。写真左。トヨタカローラ函館(函館市)は新幹線開業を記念して、函館駅前商店街にフラッグを掲出。写真左。

# 函館 フラッグやラッピングカー

1日の約50カ所に1日から設置した。商店街の約120店舗に卓上のぼりも配った。商店街側も「JRと歩調を合わせて新幹線をPRしていきたい」(函館都心商店街振興組合)と話す。ラッピングカーは7人乗りのミニバン「ノア」のハイブリッド車(HV)に新幹線のイメージカラーをあしらった。16年4月30日まで貸与する。振興局は公用車として使うほか、地元市町の新幹線イベントなどに貸し出す。トヨタカローラ函館の河村祥史社長は「50年、100年に一度となるイベントに合わせて地元で恩返しをしたい」と話す。

# キーワード

▲増える道内の暴風雪 冬季を通じた積雪量は減少傾向だが、暴風雪はむしろ増えている。国立研究開発法人土木研究所の寒地土木研究所(札幌市)によると、道内で発生した暴風雪は1984~92年が12回に対し、93~2001年は17回、02

# 商品開発

少し目... 商品開発... 技術... 研究... 開発... 進め... 例え... 道外企業と太陽光発電装置で熱を生み出して融雪する柵を研究中だ。吹雪の風向きを変えるのに欠かせない柵の下部に雪がたまるのを防ぎ、人手に頼らずに効果を持続させる。「次の冬には製品化にこぎ着きたい」(柴尾社長)と意気込む。(小山隆史)